



生物多様性普及啓発事業

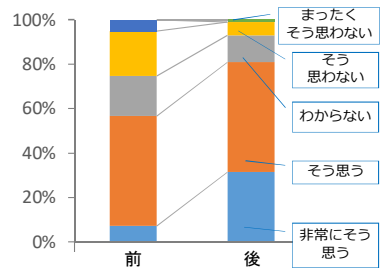
私たちの暮らしを支える生物多様性を一人でも多くの方が知り、伝え、その保全に取り組んでいただくため、様々な立場の方の活動を支援しています。

「知り」「伝える」ための支援

- 府民の皆様へ、生物多様性について知っていただくため、生物多様性研修用プログラム「**知ろう・伝えよう 大阪の生物多様性**」を開発し、このプログラムを活用した研修や講習を行っています。
- このプログラムを用いた研修による生物多様性の理解度の変化を調べた結果、研修の前後では生物多様性に関する理解や、「伝えることができる」という人の割合が増加しました。
- 企業の皆様へ向けには、CSR*活動で生物多様性に取組む企業向け「**大阪で生物多様性についての取り組みをはじめませんか**」を作成。大阪府の施策や、府内企業による取り組み事例を紹介しています。 *企業の社会的責任



問：生物多様性を子どもたちや他の人に伝えることができる



研修の前後での回答の変化 (N=99)



企業でのランチセミナーの様子

「取組む」活動支援

- 企業や学校敷地内へのビオトープの設置や、生物の導入、モニタリング調査、環境学習プログラムの提案など、ビオトープの活用方法に対するアドバイスをしています。
- 生物多様性を軸としたまちづくりの支援として、地域で開催される住民参加型の生物調査等の支援を行っています。
- 「おおさか生物多様性パートナー協定」(2013年大阪府創設)では、パートナー組織の一つとして、締結企業の活動を支援しています。



事業所敷地内ビオトープへの希少種の導入



住民参加型生物調査の実施風景



おおさか生物多様性パートナー企業活動支援(調査方法アドバイス)